

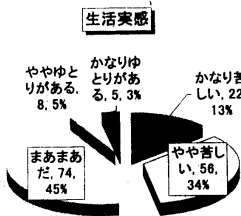
労働者の
労働者による
労働者の為の
JMIU

あゆみ

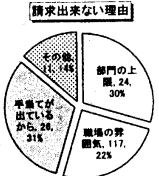
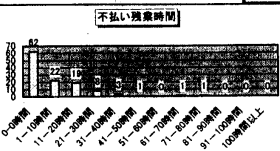
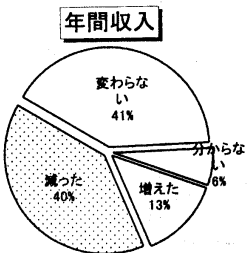
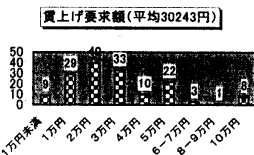
全日本金属情報機器
労働組合 JMIU
IBM支部藤沢分会
Tel:Fax 0466-44-6337

**生活は約半数が苦しい、賃上げはスバリ3万円
依然多い、サービス残業も裁量勤務制度で合法化**

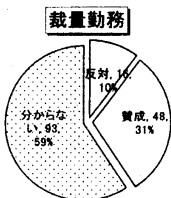
先月はお忙しい中アンケートにご協力を戴き有難うございました。「あゆみ」前号「1733号」でお知らせいたしました、2004春闘年要求を、1月27日にIBM、日立GSTそれぞれに提出しました。今号は166人の方々からご協力戴いたアンケート結果の一部をご紹介します。
先ず、この一年間の生活実感と年収増減に関してはリンクが取れているかのように約半数の人は生活が苦しいと、収入が減ったと回答しています。



次に、賃上げ要求金額では実感で平均3万円の昇給が生活を支える為には必要と考えていることが判ります。



裁量勤務制度は藤沢事業所では適用される人は少数の為、「わからない」と回答した方が多く見られますが、将来色々な職種に拡大適用されることは明白です。人事制度の改悪はIBMが率先して制度化し、一部門から始めて社内へ普及させ、後に他社にも波及させるのが現状です。



また、残念な事は依然としてサービス残業があり、残業申請をしない理由の多くが自ら規制している事です。

2004年春闘アンケート 声・声・声・声・声

● 会社の社員間の競争をおおる施策は、一時的には会社の利益を増やすかも知れないが、会社の長期の存続を危うくしていくのではないだろうか。(50歳代 男性)

● 各部門内での相対評価により、実際は質の良い仕事したにもかかわらず、低い評価を下され、その結果によってボーナス等の金額までも低くなるというやり方が納得いかない。(社員に支払う賃金を低くしたいり会社の利益増大)という事ばかり考えている会社は心が寒いし、信頼感も失せていきます。(50歳代 女性)

● 二年間継続して契約更新できると嬉しいです。(20歳代 男性)

● できない社員は、リストラにあうのはしょうがないと思うがその前に教育が十分であるならば、その社員の問題。(20歳代 男性)

● 職場で働いている人達の表情が暗い。いろんな面でお互いのコミュニケーションが希薄である。(50歳代 男性)

● 我々の職場ではリストラコースができてつづつあります。(30歳代 男性)

● やはり、臨時雇用者ではダメなんですよ。社員として社会に出たくても今のご時世では、社員と一緒に働いているのだから、ほんの気持ちでいいから、寸志でいいからボーナスが欲しい。きつと無理なんですよ。(30歳代 男性)

● 社員以外の雇用形態のものでも、業務に係する研修を受けられるようにして頂きたい。IBM社員の全員が全員、教育にだけているとは限らないので。(30歳代 男性)

● 部門長だけノーノーとしていて、下だけいじめ。(50歳代 男性)

● 仕事の時間、PRIVATEな時間の境界があいまいになる。成果をあげることについての心理的圧力が必要以上にかかる。精神衛生上良くない。(50歳代 男性)

● 手当ての支給根拠が不明確で逆差別的である。(30歳代 男性)

● いい加減な評価。レポート屋が評価され、実業をしている者が評価されない。(50歳代 男性)

● 消費税は減税すね必要はないが税金のムダ使いを止めてほしい。(50歳代 男性)

● HGS TからIBMに戻るP A T Hを設けてほしい。(30歳代 女性)

● 裁量勤務は判断基準を誰がどう判断するかで、不公平が出る。サービス残業、過労につながる。(30歳代 男性)

三子&ハ子 小菅リヤ子

